

瀬戸毘沙門天王

41号

平成23年12月5日

瀬戸毘沙門天王 事務局

瀬戸町山根

TEL 090-3881

-8629 (長島)

日本国家再建のために 東北被災者慰霊のため



↑
ブツダ像の建立

初詣
平成二十四年

一月二日三元日祭

平成二十三年三月十一日。マグニチュード七・九と過去最大の地震が発生しました。想像を絶する被害が発生しました。現在でも約二十万人が人柱となっています。我々日本人の身代わりとなって亡くなった人びとです。

日蓮上人は「法が乱れると国が乱れる」と。

日蓮は一二五七年に発生した鎌倉大地震の経験をもととして「立正安国論」を書いた。日本を襲った地震、台風、洪水、飢饉にあえぐ人々。まさに「人災」だと。

今こそ謙虚に反省し日本古来の生き方を現在の社会に現わし、今後の日本再建、犠牲者の慰霊を

ブツダ像を建立して祈願したいと発願しました。

我々に見えない世界があります。見えない世界を大切にしたいと思えます。私たちの先祖も見えます。先祖を大切にすることが一番だとおもいます。このことが欠けている現代。混乱している現代。元を正していくことが、私たちの幸せを約束されます。

毎月の月並み祭で亡くなられた霊の慰霊祭を
仕えています

野山智弘君 顕彰の碑

昭和19年9月18日、君が海軍上等機関兵として乗務したる特設一洋艦「さいごん丸」はマニラ湾の西方洋上に於いて米軍潜水艦の魚雷攻撃を受けて、全員退去の命令により、乗務員は救命ボートに移乗、内一艇は定員30名にたいして50余名の満載状態であった。この時、艦と運命を共にして戦死した者234名。

君は幸いしてボートに移ったが、近島に移動中海面に浮泳している一老兵を発見し、ボートの指揮官は超満員のため、勇気ある者の交替を求めた。そのとき君は敢然として 起立し莞尔として身を海中に投じて、老兵と交替した。君はボートより投げられた一片の浮上用具を片手に荒波を泳ぎつつ数十分ボートを追っていたが。遂に力つき一声高く「万歳」と叫んで、南の海に沈んでいったのである。

時に若冠満17歳。機関兵長に昇進。

君の行為はお釈迦さまの本生譚「捨身飼虎」にも比すべき人間愛の極みである。聞く者誰人として感涙をもよおさない者はないだろう。君の遠祖は、この西身延妙本寺を創建した野山城主、伊達弾正朝義公であり、廟所もここにある。よってこの処に碑を建て、君の気高い精神を人の鏡、郷土の誇りとして、永く後世に伝える。

昭和54年9月18日

元海軍飛行予科練習生 大和尋常高等小学校同窓 小西利雄 文 岡崎嘉平太建立